

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(小児科定点、インフルエンザ定点)

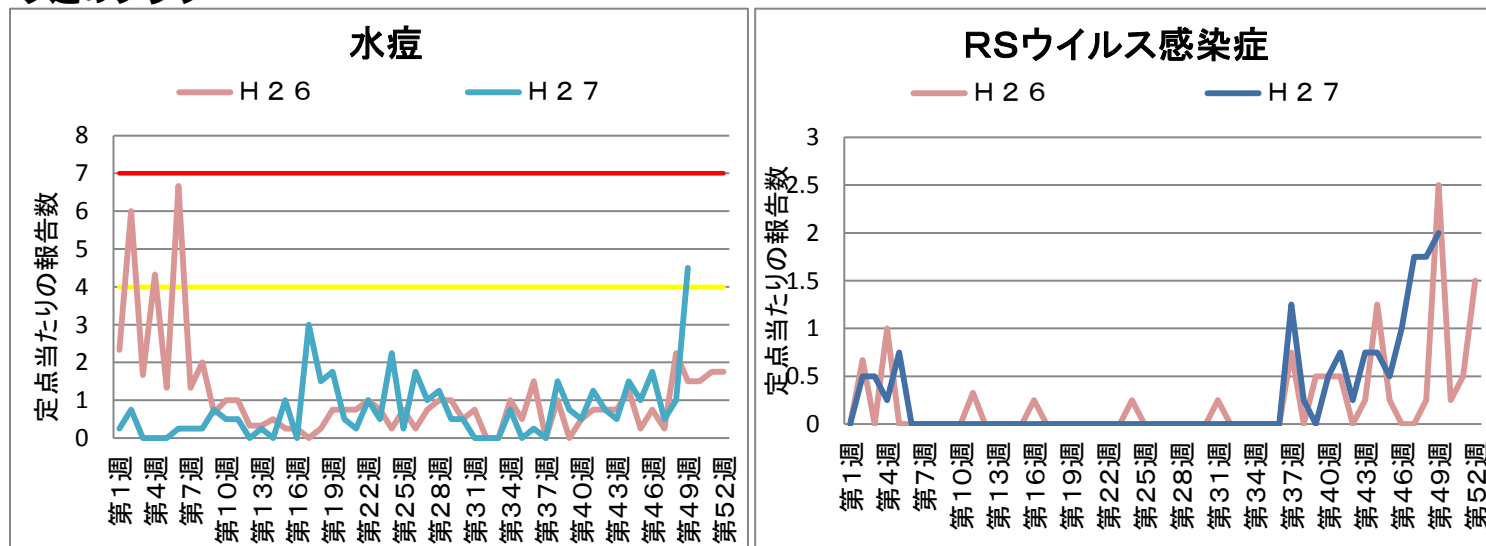
第 49 週 平成27年11月30日 ~ 平成27年12月6日

今週のコメント

○ 水痘ワクチンが公費で接種できるようになり減っていた水痘(水ぼうそう)が増加しています。水痘は空気感染するので保育園などで流行しやすい感染症です。水痘の予防には水痘ワクチンが有効です。水痘ワクチンの公費接種が始まる平成26年以前は、水痘の重症化により、日本で年間4000人程度が入院し20人程度が亡くなっています。水痘ワクチンの1回の接種により重症化をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症も含めてその発症を予防できます。水痘ワクチンの定期接種は、生後12月から生後36月に至までの間にあるお子さんが対象です。水痘ワクチンにより子ども達を守りましょう。

○ 引き続き、RSウイルス感染症も増加しています。0歳児・1歳児がRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎・肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。咳などの呼吸器症状のある年長児や成人は、マスクを着用し、可能な限り0歳児と1歳児との接触を避けることが、重症化しやすい乳幼児への感染予防につながります。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	-
RSウイルス感染症	2	伝染性紅斑	1
咽頭結膜熱	0.25	突発性発しん	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	百日咳	0.25
感染性胃腸炎	6.75	ヘルパンギーナ	-
水痘	4.5	流行性耳下腺炎	-

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

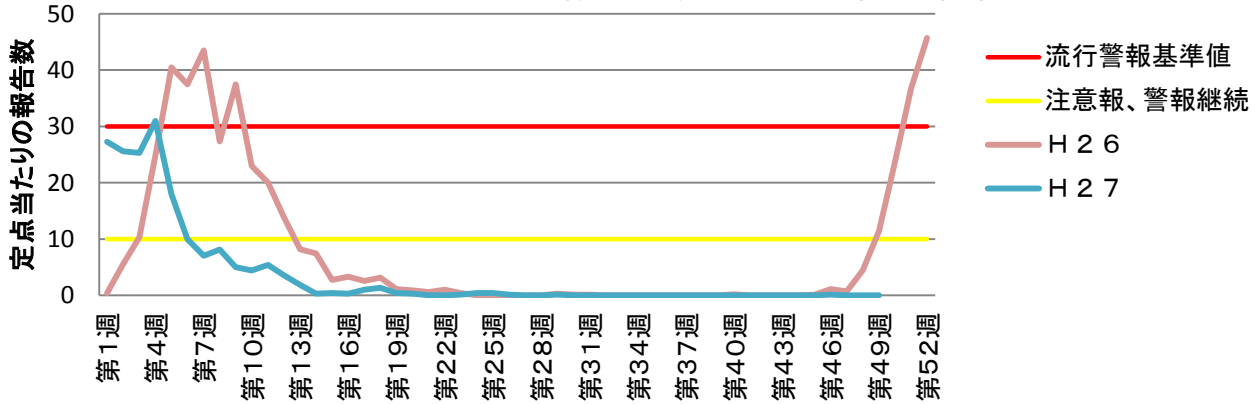
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

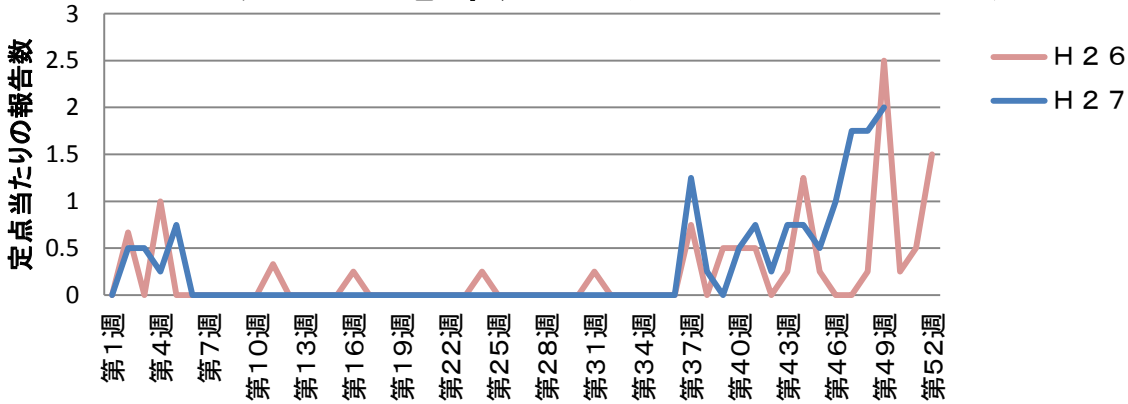
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

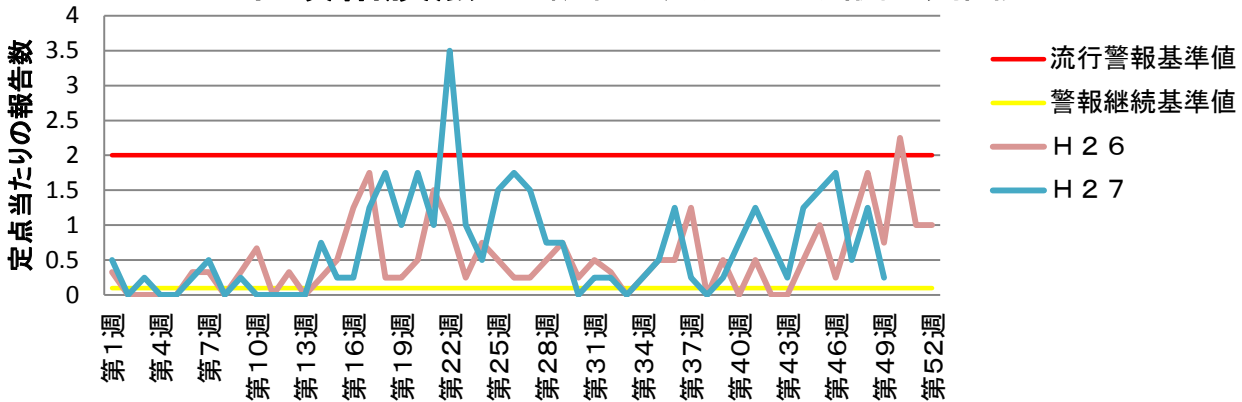
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



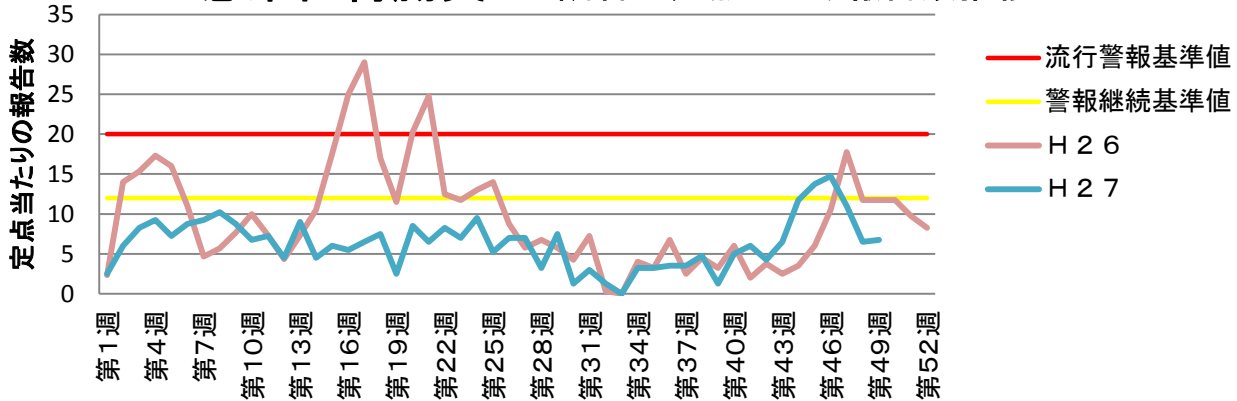
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



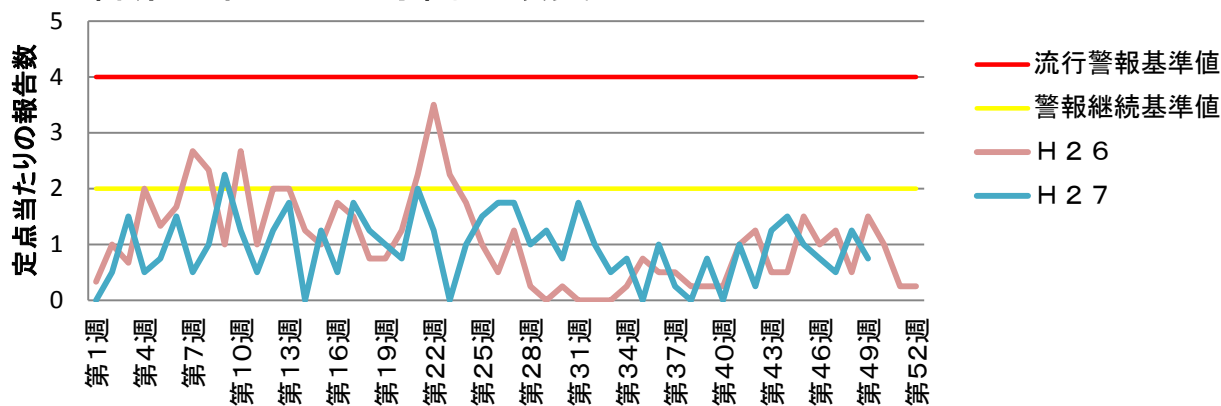
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



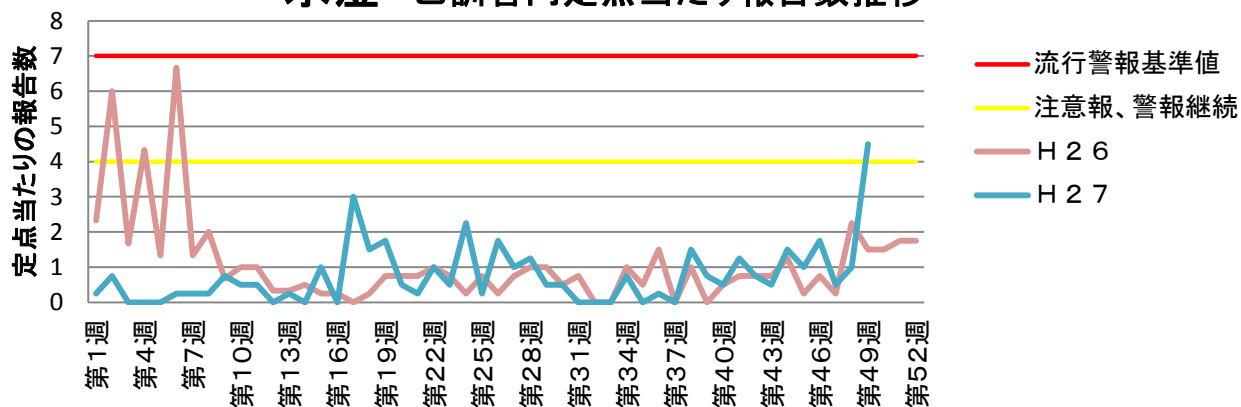
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



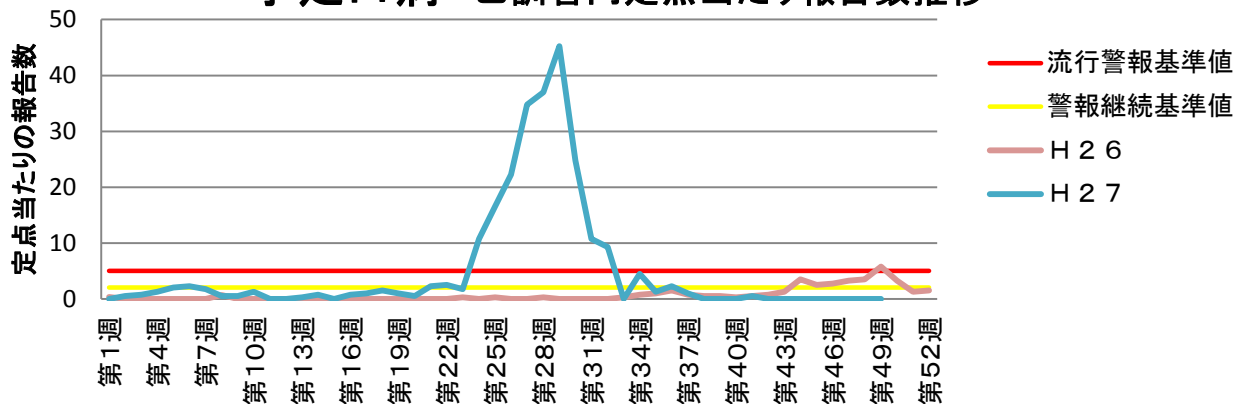
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



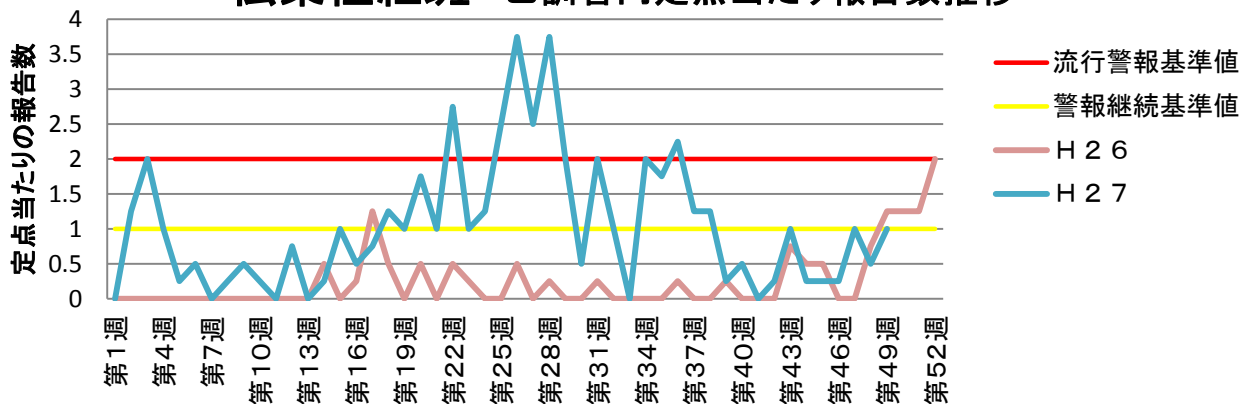
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



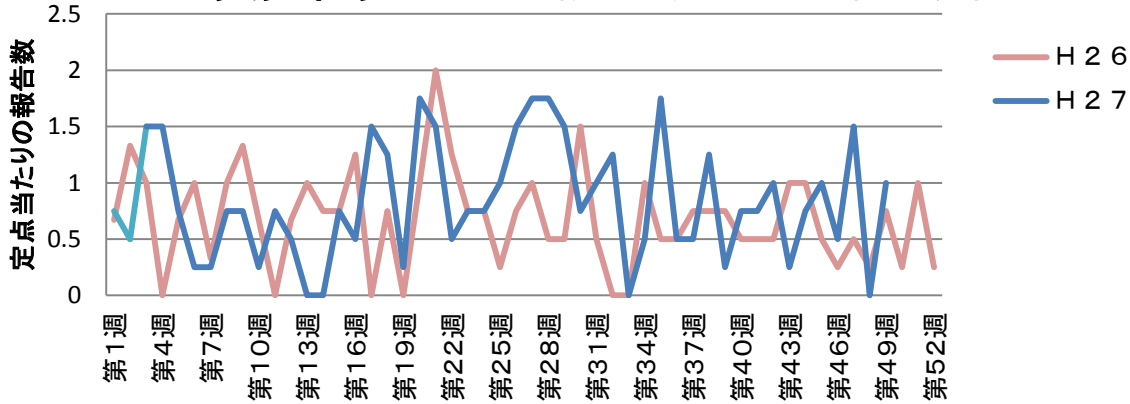
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



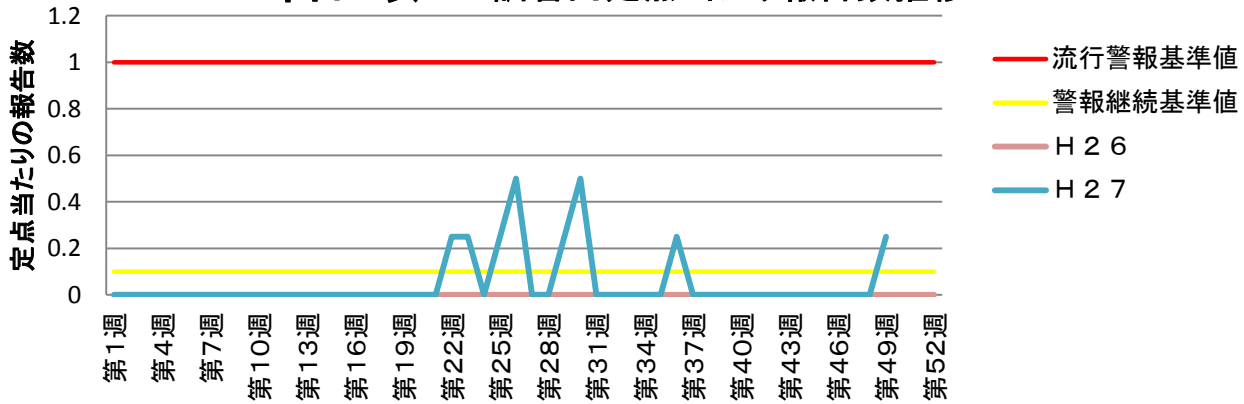
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



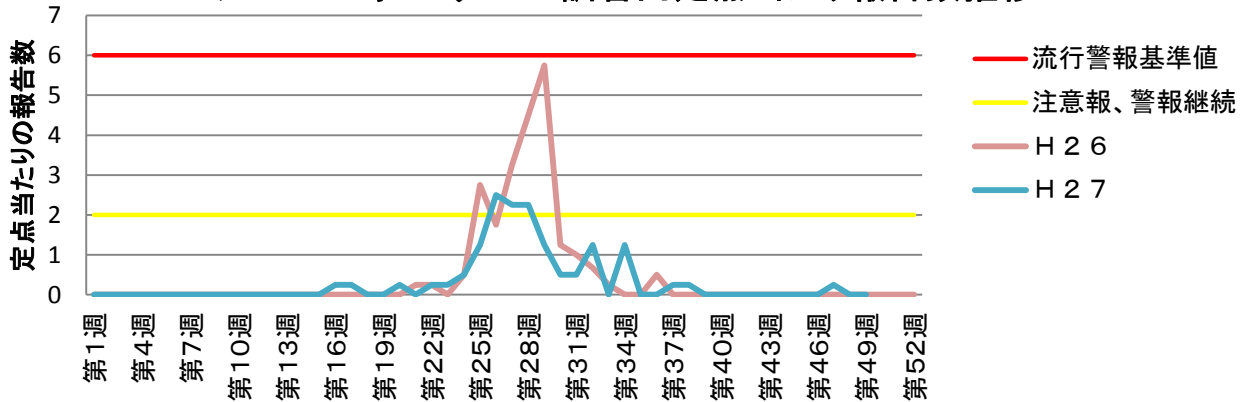
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

